

# 特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

## 目的

- 早期連携・早期支援のための体制整備
  - …特別な支援を必要とする子どもへの支援については、就学前後で所管部署が分かれていることから、切れ目のない連携体制を整備し、早期連携・早期支援を行う。
- 就学後から就労に向けた一人一人の「カルテ」の作成
  - …子どもの支援に関する情報が乳幼児期、就学前機関、就学後の各段階で途切れることなく継続的に蓄積するためのツールとして、立川市版サポートファイルを開発し活用する。



## 成果

- 所管部を超えた連携体制の構築による切れ目ない支援
  - …教育部教育支援課で実施する就学相談と子ども家庭部子ども家庭支援センターで実施する未就学児対象の発達相談・5歳児相談の連携体制を構築することで、就学先への引継ぎと継続的な関与が実現し、スムーズな就学と就学後の支援につながっている。
- 立川市版サポートファイルの開発・活用
  - …子どもたち一人一人のカルテとなる立川市サポートファイル「たちサポ」を開発し、活用を開始した。

## 事業内容

- 連携支援コーディネーターを教育支援相談員（就学相談兼務）として配置
  - ・ 就学相談において、連携支援コーディネーターが中枢となり、未就学児を対象とした発達相談・5歳児相談との連携を強化し、支援が必要な幼児や家庭に関する情報共有を推進
  - ・ 連携支援コーディネーターが学校を巡回し、校内委員会や指導内容、個別の教育支援計画に関する指導・助言を実施
- 立川市版サポートファイルの開発
  - ・ 障害者団体や保護者を対象に実施したアンケート結果を踏まえ、サポートファイルに必要な内容を検討
  - ・ 保護者を招いたモニター会議でサポートファイル案への意見を伺うとともに、サポートファイルの愛称等への意見も募集
  - ・ 立川市サポートファイル「たちサポ」をリリースし、各種説明会、講演会、保護者会などの機会に、関係各所への周知と配布を進め、活用を呼び掛け

